

いのちをまもるPARTNERS
医療安全全国共同行動

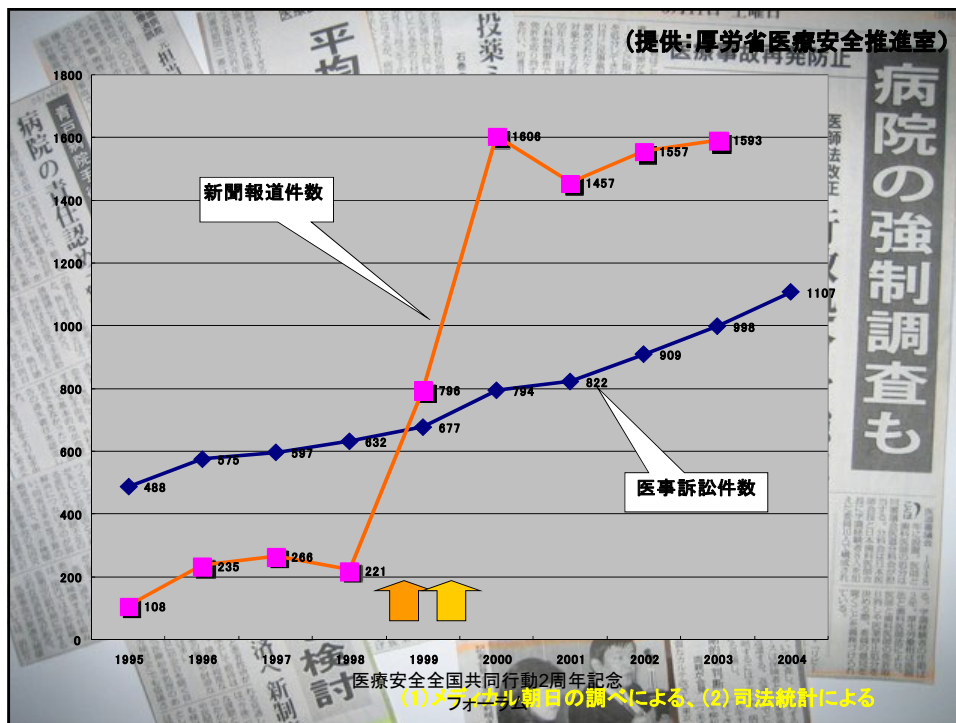
医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム
(2010年5月15日 於 ベルサール九段)

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”

—これまでとこれから—

医療安全全国共同行動推進会議
議長 高久 史麿

<http://kyodokodo.jp/>



“To err is human” 1999年11月公表

(医療の質に関する全米プロジェクト委員会／米国医学研究所)

- 入院中に医療行為による傷害を受けた人
2.9%～3.7%
- それが何らかのエラーに起因していたもの
上記の58%、53%

⇒ 年間あたり約 **44,000人** から **98,000人**

の患者さんが「防げる可能性のある<医療に伴う傷害>」
を原因として死亡している

医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム

3

有害事象の発生率

調査を実施した国	対象病院／対象年度	発生率 (%)
米国 ニューヨーク州	急性期病院(1984年)	3.8%
米国 ユタ州、コロラド州	急性期病院(1992年)	3.2%
オーストラリア	急性期病院(1992年)	16.6%
英国	急性期病院(1999年-00年)	11.7%
デンマーク	急性期病院(1998年)	9.0%
ニュージーランド	急性期病院(1998年)	12.9%
カナダ	急性期・地域病院(2001年)	7.5%

(WHO/World Alliance for Patient Safety “Forward Program 2005”)

日本	急性・亜急性期病院 (2002-03年)	6.8%
----	-------------------------	------

(厚生科学研究班(主任研究者堀香子)の調査による)

・有害事象・医療事故が多発する背景

- 急速に進展した医療技術革新
- 技術主導・産業主導の技術革新
- 医療への期待の高まりと、効果が不確実で危険を伴う治療や処置の飛躍的な増大
- 医療プロセスの多様化・複雑化の進行
- 医療の提供者が医師から組織へと変化
- 医療技術革新に対応するシステムと体制が未確立
→ 医療者個々人の献身的努力に依存

医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム

安全対策の普及が1年遅れるごとに
毎年10万人の、助かる命が失われている

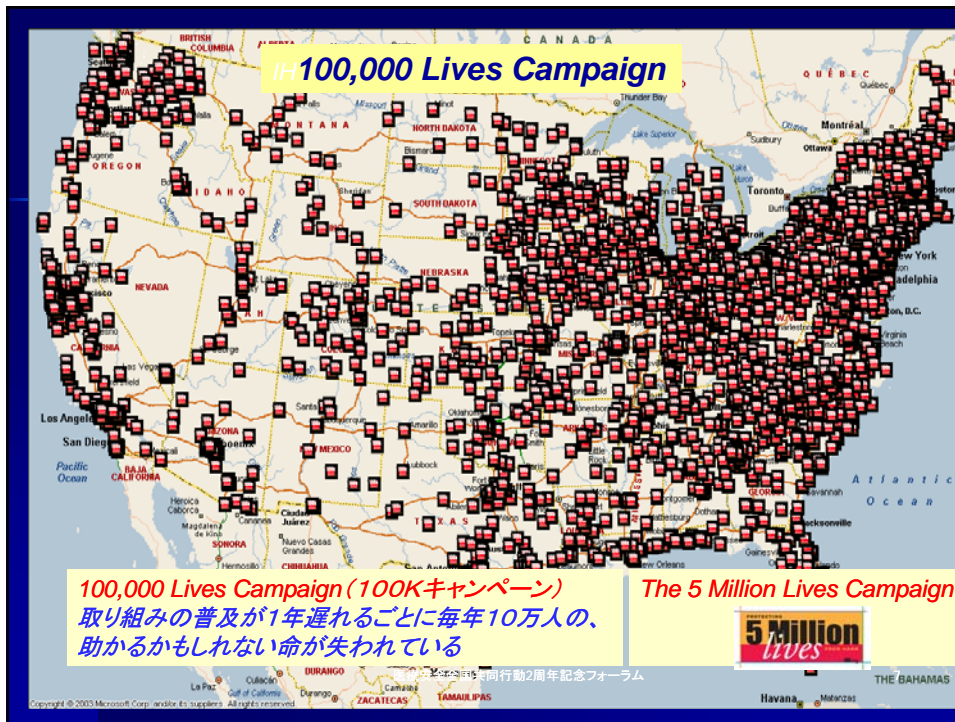
100,000 Lives Campaign
（“10万人の命を救え”キャンペーン）

IHI



医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム

6



医療安全全国共同行動

いのちをまもるPARTNERS
 医療安全全国共同行動

“いのちをまもるパートナーズ”

<http://Kyodokodo.jp/>

呼びかけ団体

- 医療の質・安全学会
- 日本病院団体協議会
- 日本医師会
- 日本歯科医師会
- 日本看護協会
- 日本臨床工学技士会
- 日本病院薬剤師会

医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム

医療安全全国共同行動 参加団体・協力団体 (平成22年2月1日時点 順不同)

- | | | |
|-----------------|---------------|-------------------|
| 医療の質・安全学会 | 日本診療情報管理学会 | 日本癌治療学会 |
| 日本病院団体協議会 | 日本医療マネジメント学会 | 日本放射線腫瘍学会 |
| 国立大学附属病院長会議 | 医療のTQM推進協議会 | 日本医学放射線学会 |
| 独立行政法人国立病院機構 | 日本医療教授システム学会 | 日本形成外科学会 |
| 全国公私病院連盟 | 日本医療学会 | 日本脳神経外科学会 |
| 社団法人全国自治体病院協議会 | 日本品質管理学会 | 日本神経学会 |
| 社団法人全日本病院協会 | 日本専門医制評価・認定機構 | 日本口腔科学会 |
| 社団法人日本医療法人協会 | 卒後臨床研修評価機構 | 日本超音波医学会 |
| 社団法人日本私立医科大学協会 | 医薬品医療機器総合機構 | 日本小児神経学会 |
| 社団法人日本精神科病院協会 | 総合安全工学研究所 | 日本インターナショナル・ラジオ学会 |
| 社団法人日本病院会 | 日本看護学会協議会 | 日本高血圧学会 |
| 日本慢性期医療協会 | 日本看護系大学協議会 | 日本自律神経学会 |
| 独立行政法人労働者健康福祉機構 | 日本医学会 | 日本脳神経血管内治療学会 |
| 日本医師会 | 日本内科学会 | 日本人工臓器学会 |
| 日本歯科医師会 | 日本外科学会 | 日本臨床検査医学会 |
| 日本看護協会 | 日本小児科学会 | 日本透析医学会 |
| 日本薬剤師会 | 日本救急医学会 | 日本ハンセン病学会 |
| 日本病院薬剤師会 | 日本麻酔科学会 | 日本呼吸療法医学会 |
| 日本臨床工学技士会 | 日本集中治療医学会 | 日本周産期・新生児医学会 |
| 全国医学部長病院長会議 | 日本感染症学会 | 肺塞栓症研究会 |
| 日本放射線技師会 | 日本静脈経腸栄養学会 | 日本血管外科学会 |
| 全国国立病院療養所放射線技師会 | 日本環境感染学会 | 日本小児外科学会 |
| 日本臨床衛生検査技師会 | 日本血栓止血学会 | 日本臨床薬理学会 |
| 日本赤十字社 | 日本静脈経腸栄養学会 | 日本臨床救急医学会 |
| 恩賜財団 済生会 | 日本消化器外科学会 | 日本整形外科学会 |
| 国家公務員共済組合連合会 | 日本大腸肛門病学会 | 日本消化器病学会 |
| 全国社会保険協会連合会 | 日本胸部外科学会 | 日本産科婦人科学会 |
| | 日本泌尿器科学会 | |

医療安全全国共同行動2周年記念
フォーラム

目的

10

- **医療の質・安全の向上を目指す取り組みの普及**
- **医療の質・安全向上の取り組み成果を可視化**
- **医療に対する患者・市民の信頼の向上**

医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム

医療安全全国共同行動の8つの目標 (2008年5月—2010年5月)



14

- 1. 危険薬の誤投与防止
- 2. 周術期肺塞栓症の予防
- 3. 危険手技の安全な実施
- 4. 医療関連感染症の防止
- 5. 医療機器の安全な操作と管理
- 6. 急変時の迅速対応
- 7. 事例要因分析から改善へ
- 8. 患者・市民の医療参加

医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム

8つの行動目標



12

医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム

医療安全全国共同行動の活動

1. 医療事故をなくすための組織的な改善活動

ハウツーガイドの作成・提供

活動を助ける支援ツールの作成・提供

ホームページを通じて情報の提供

・院内教育教材
・成功事例の紹介
・事故事例の教訓
・参考文献、など

3. 地域での経験交流

支援セミナーの開催

地域フォーラムの開催

支援病院のアドバイス

2. 病院の取り組みに対する技術的な支援

4. 改善に取り組む病院を広げる活動

共同行動推進キャンペーン

共同行動応援キャンペーン

5. 改善効果の「見える化」

13

医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム



病院の達成目標

15

1. 医療安全対策検討会議の提言を具体的に実現することを通じて入院中の可避死を低減する
2. 医療現場に安全の文化を浸透させ、医療の質・安全を確保し向上させる組織能力の基盤を作る
3. 職種や立場を超えた協力体制を構築する

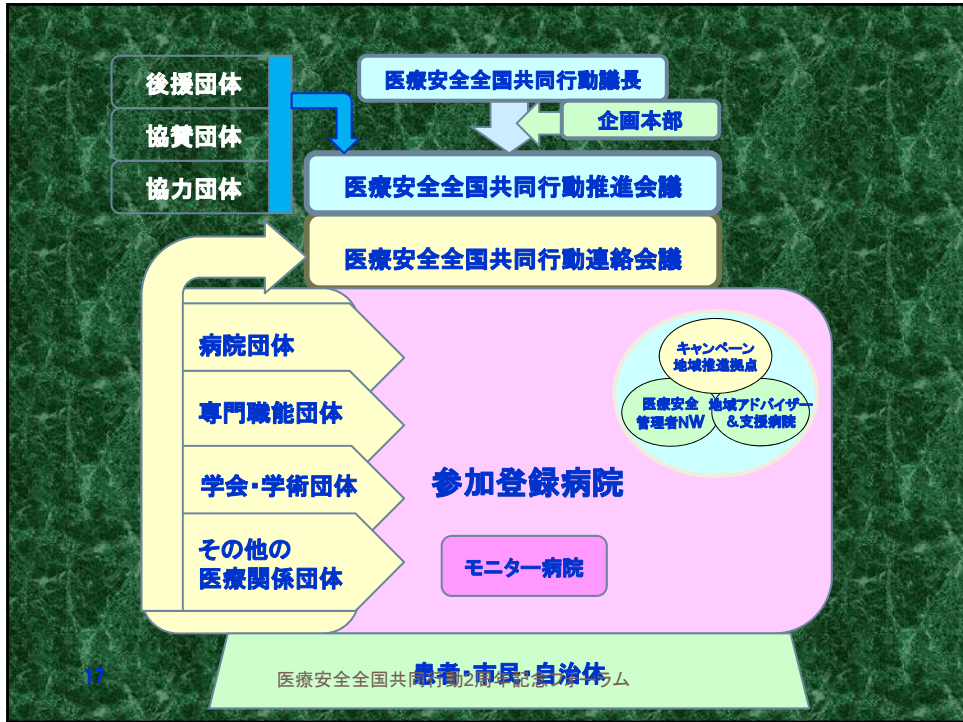
医療安全全国共同行動2周年記念共同行動

キャンペーンの目標

16

- 参加登録病院 3000病院以上
- 有害事象件数の低減 30万件以上
- 入院死亡数の低減 1万人以上
- 地域推進拠点 30以上

医療安全全国共同行動2周年記念フォーラム



各地域の病院名一覧をクリックすると、地域別参加登録病院一覧が開覧できます。

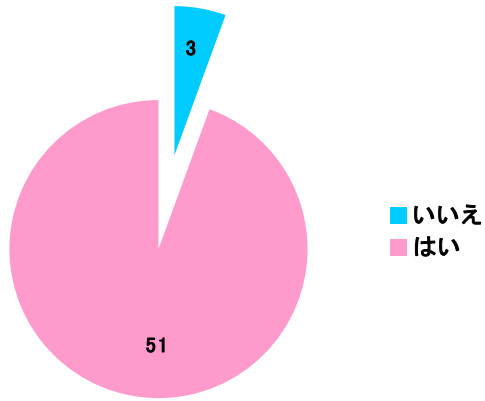
地域	病院名
北海道	札幌医科大学付属病院、札幌市立病院、旭川市立病院、釧路市立病院、帯広市立病院、旭川市立病院、釧路市立病院、帯広市立病院、旭川市立病院、釧路市立病院、帯広市立病院
東北	仙台市立病院、盛岡市立病院、秋田市立病院、青森市立病院、岩手県立病院、宮城県立病院、福島県立病院、茨城県立病院、栃木県立病院、群馬県立病院
関東	東京都立病院、埼玉県立病院、千葉県立病院、茨城県立病院、栃木県立病院、群馬県立病院、東京都立病院、埼玉県立病院、千葉県立病院、茨城県立病院、栃木県立病院、群馬県立病院
中部	静岡県立病院、愛知県立病院、岐阜県立病院、長野県立病院、山梨県立病院、富山県立病院、石川県立病院、福井県立病院、岐阜県立病院、静岡県立病院、愛知県立病院
近畿	大阪府立病院、兵庫県立病院、奈良県立病院、和歌山県立病院、徳島県立病院、香川県立病院、高松市立病院、愛媛県立病院、高松市立病院、大阪府立病院、兵庫県立病院
九州	福岡県立病院、佐賀県立病院、長門県立病院、熊本県立病院、大分県立病院、宮崎県立病院、鹿児島県立病院、沖縄県立病院、福岡県立病院、佐賀県立病院、長門県立病院



参加登録病院への クイックアンケート

2010/05/14現在
回答数:54

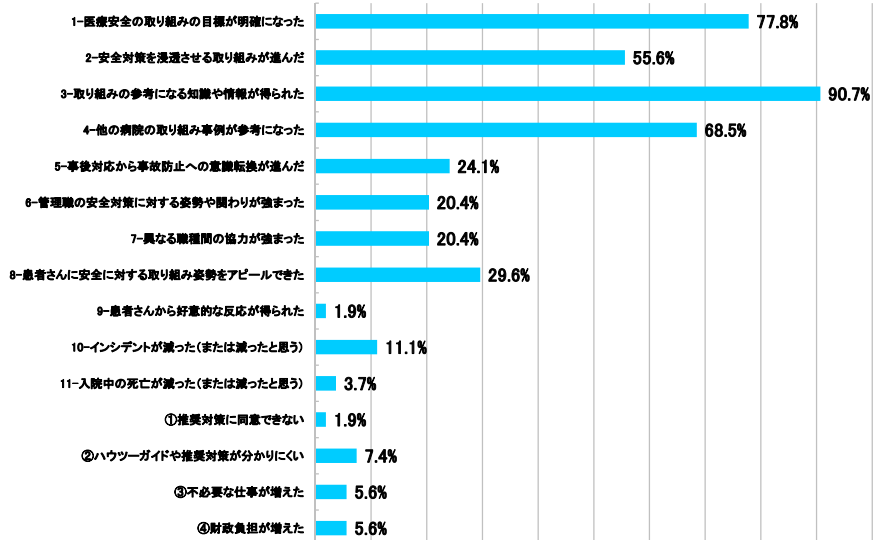
共同行動に参加してよかったと思われませんか？



医療安全全国共同行動2周年記念
フォーラム

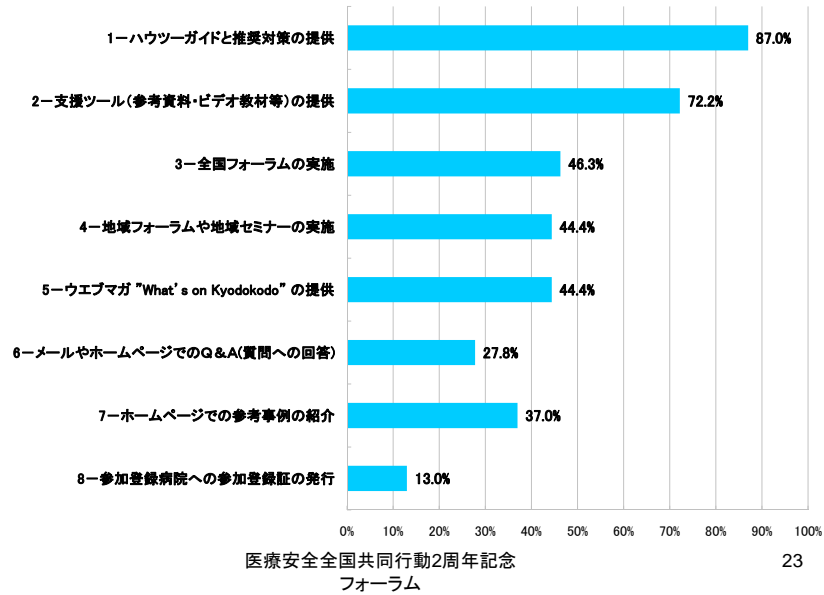
21

よかったこと、よくなかったこと

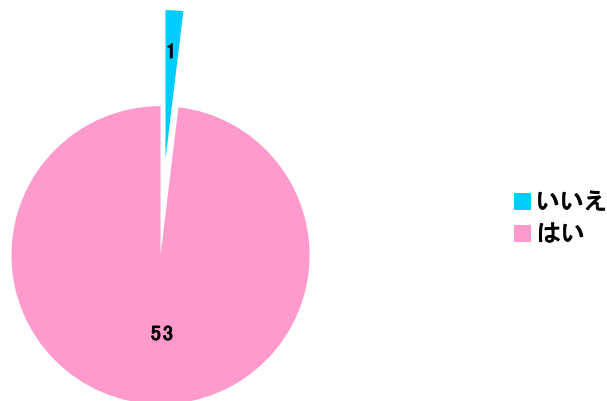


医療安全全国共同行動2周年記念
フォーラム

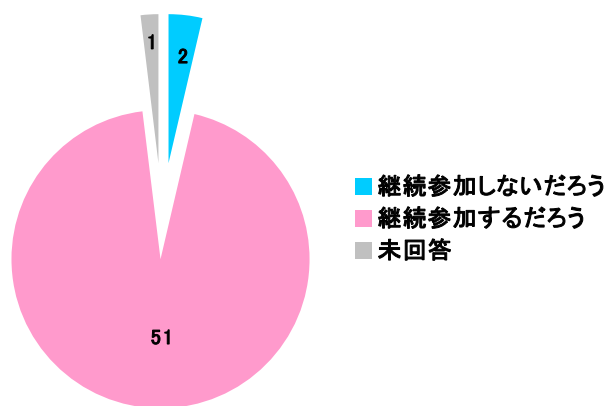
院内で安全対策を進めるうえで役に立っていると思うもの



医療安全のための共同行動は継続するのがよいと思いますか？



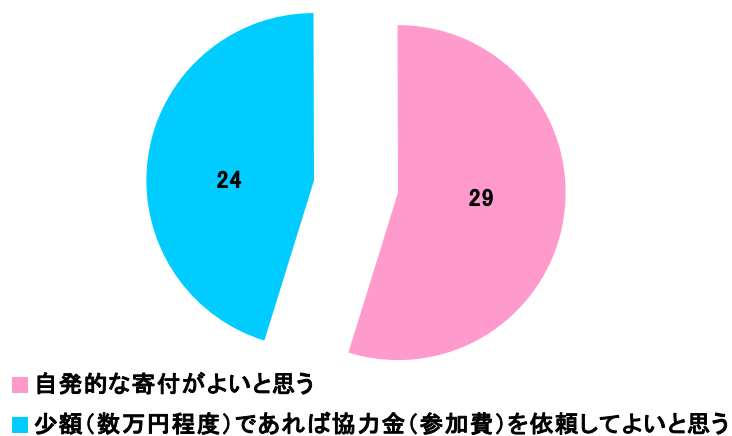
継続する場合の病院の継続参加



医療安全全国共同行動2周年記念
フォーラム

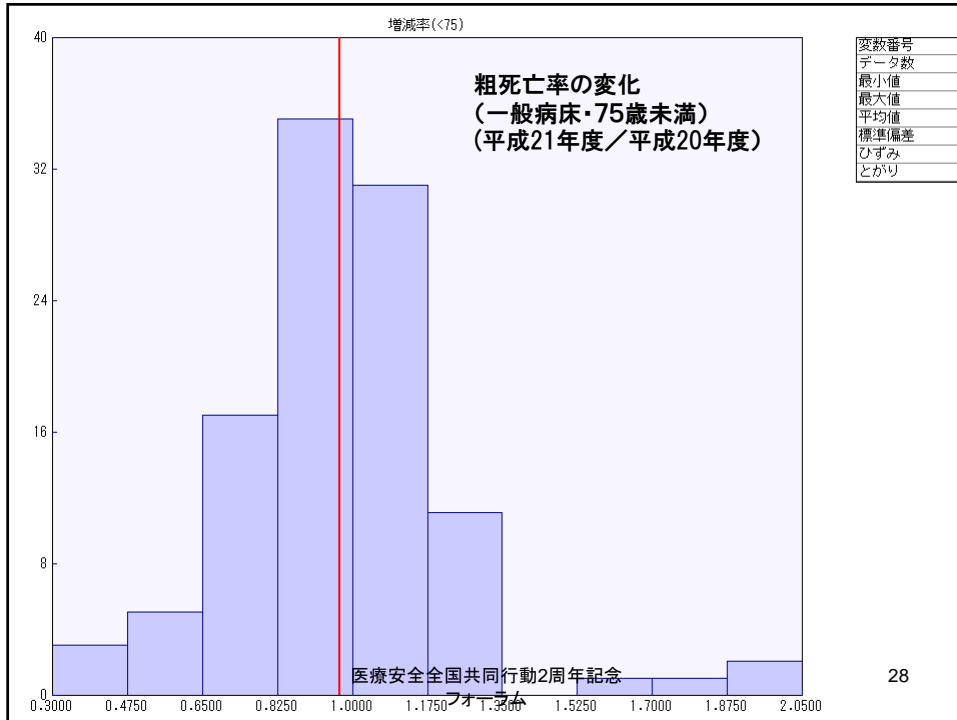
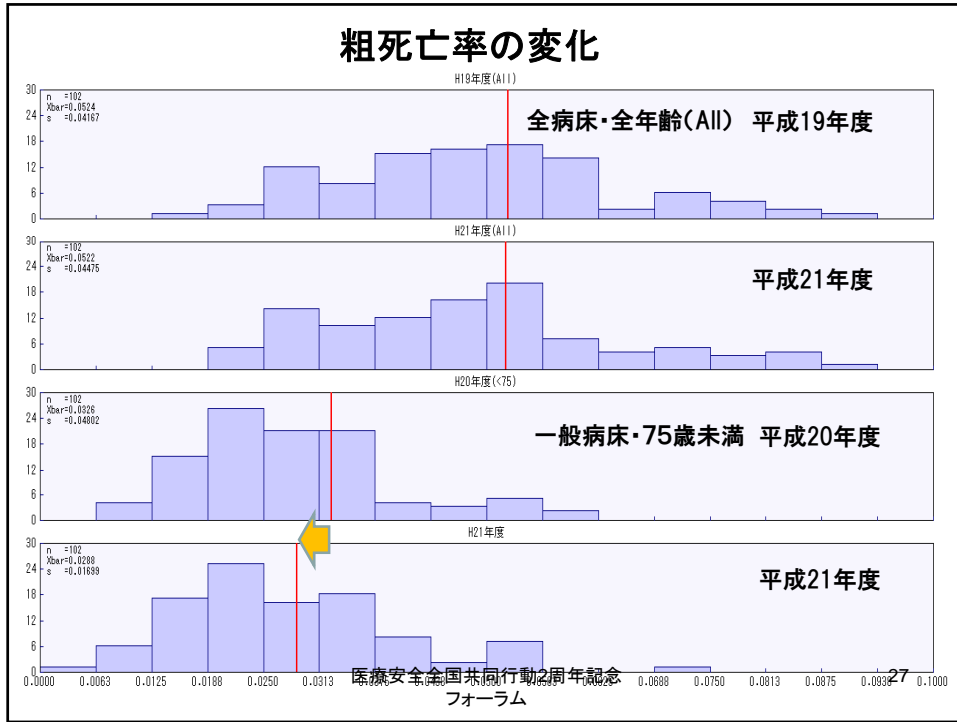
25

活動を維持・充実するための財源について 病院に協力を期待すること



医療安全全国共同行動2周年記念
フォーラム

26



粗死亡率の変化 (一般病床 & <75歳)

(施設数)

低下	50	5%以上低下
不変	23	5%以内の変化
上昇	34	5%以上上昇

- 1ー 医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”を継続する。
- 2ー 今後の評価調査に基づいて事業計画を策定し11月フォーラムで公表する。
- 3ー 5月末までの参加登録病院(1期登録病院)は、これまでの活動とその成果を評価して11月までに報告する。
- 4ー 5月以降に新規参加登録を希望する病院も登録を受付けますが、11月までの評価報告は任意。
- 5ー 政府への要望書提出を含めて、推進にかかる体制と財源について検討を進める。